平成27年3月26日発行　年4回発行

県人とふるさと山梨を結ぶ情報誌

富士の国

2015.
開花号
No.645

新春賀詞交換会 / 後藤斎知事 就任あいさつ / わがまちへようこそ・笛吹市
故郷に流れる歴史の風 / ふるさとの都市伝説 / がんばれヴァンフォーレ甲府
男女プロゴルフツアー / Party & Information / やまなし掲示板 / 連合会だより

笛吹市春日居町からの桃と富士

山梨県人会連合会

SHINGEN-KO FESTIVAL

世界一の武者行列

信玄公祭り

よみがえる、戦国歴史絵巻

第44回 2015 4/3(金)～5(日)

信玄公役
片岡 鶴太郎

山梨県甲府市(舞鶴城公園・甲府駅前 他)

信玄公祭り日程

4月3日(金) 信玄公祭り前夜祭
湖衣姫コンテスト 等
4月4日(土) 信玄公祭り甲州軍団出陣
4月4日(土)・5日(日) 輝きの祭典「大宝飾展」
4月5日(日) 子ども武者行列 等

■信玄公祭り関連事業イベント

4/12 (日) 武田24将騎馬行列……甲府市	4/12 (日) 恵林寺信玄公忌……甲州市
4/19 (日) 春の武田の里まつり「お新府さん」…韮崎市	4/26 (日) 川中島合戦戦国絵巻……笛吹市
4/26 (日) 甲州市ふるさと武田勝頼公まつり…甲州市	4/29 (祝・水) 甲斐の勝山やぶさめ祭り…富士河口湖町

出陣団体 = 東日本旅客鉄道株式会社八王子支社／サンスター技研株式会社／NECグループ／NTTグループ／甲府信用金庫／韮崎市／甲府市／桔梗屋グループ／市川三郷町／甲斐市／富士吉田市／富士通グループ／富士急行株式会社／パナソニックグループ／株式会社山梨中央銀行／笛吹市／山梨市／コニカミノルタグループ／日立山梨グループ／朝日生命保険相互会社甲府支社／ JTBグループ／国際興業山梨グループ／甲州市／南アルプス市／東京セキスイハイム株式会社山梨支店／株式会社AOB慧央グループ／山梨県及び一般公募 (順不同)

主催 = 山梨県信玄公祭り実行委員会：TEL.055-231-2722 ／甲府市信玄公祭り実行委員会：TEL.055-237-5702
信玄公祭りの情報はホームページへ http://www.yamanashi-kankou.jp/shingen/ ※出陣式の様子は防災新館、甲府市役所のモニター等でもご覧いただける予定です。

©1976, 2015 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G553723

「信玄公祭り」情報はこちら!

県人とふるさと山梨を結ぶ情報誌

富士の国

CONTENTS

04 山梨県人会連合会新春賀詞交歓会開催

07 後藤斎知事 就任あいさつ

08 わがまちへようこそ 笛吹市

10 故郷に流れる歴史の風 桃源郷が育んだ俳人、詩人、歌人の、ふるさとに波打つ言葉

11 ふるさとの都市伝説 甲府盆地・市街

12 がんばれ!ヴァンフォーレ甲府

13 今年の山梨は男女のプロゴルフツアーで大盛上がり

14 Party & Information

平成26年度港区山梨県人会総会・懇親会 / ほうとう会忘年会 / 三郷市・吉川市山梨県人会創立総会開催
平成26年度第3回常任理事・理事合同会議 / 「女性の会」と合同の新春の集い世田谷区県人会開催
十士会新年会開催 / 甲斐市山梨県人会設立総会開催
小金井市山梨県人会26年度総会・新年会（新春の集い）開催 / 南アルプス市山梨県人会役員会・新年会
第93回久那土郷友会開催 /平成26年度文部科学省山梨県ゆかりの会開催 / 公益財団法人山人会新年会開催
山梨農林東京圏同窓会新春賀詞交歓会および合同会議開催 / 荒川山梨県人会総会開催
山梨県人会連合会女性の会平成27年度新年会開催 / 首都圏甲府会 総会・交流会開催
第25回大泉会総会・懇親会開催 / 品川区山梨県人会平成27年春の集い開催 / 在京山梨政経懇話会

26 やまなし掲示板 / 連合会だより

人会連合会 新春賀詞

特集

山梨県人会連合会 新春賀詞交歓会開催

「ふるさと山梨から世界へと広がるネットワークを作ろう」と弦間会長が語り、新春賀詞交歓会に１３０名が集う

1月29日（木）午後6時より千代田区竹橋のＫＫＲホテル東京にて、山梨県人会連合会（弦間明会長）の新春賀詞交歓会が１３０名の参加を得て開催された。飯田冨美子常任理事の司会進行により、有野芳邦会長代行が、各方面からの協力があって、県人会連合会としての速やかな活動が出来ていることに謝辞を述べて、開会のことばとした。

弦間会長はオバマ大統領の基盤の揺らぎや中東情勢の危うさ等、多難な国際情勢を振り返り、日本ではアベノミクスの効果が今ひとつで個人消費の落ち込みから景気の足踏み状態が続いていることを指摘「一方山梨では南アルプス市のユネスコエコパークに登録され、ＮＨＫの朝ドラ『花子とアン』では甲州弁を通じて、山梨の風土とはどのようなものなのかを、日本全国の人々に印象付けた。県人会連合会の活動としては現役の経営者と若手ビジネスマンの交流する山梨ワンハンドレッド倶

楽部は各マスコミで大きく取り上げられ話題となった。また各県人会の活動も活性化し甲斐市県人会も発足した。今年はリンケージのNからとり、Ｎｅｔｗｏｒｋをキヤッチフレーズにして、ふるさとから首都圏、さらには世界へと広がるネットワーク作りをめざしたい。

最近の例では、和紙で有名な岐阜県美濃市が、イタリアのアマルフィ市と連携して、紙を介した文化交流を築こうとしている。山梨もこのようなネットワーク作りを見習って、山梨ならではの海外交流とは何かを考え、行動したい。山梨ゆかりの２００万人が理想の家族であり友人であり、名誉と品位を重んずる県民として絆の力を発揮して、日本一の県人会をめざそう」と語った。

来賓祝辞として今期で勇退する横内知事が「山梨では基幹産業である機械電子の生産が上向き、外国人観光客が倍増する等明るい展望が開けてきている。県人会連合会には物心両面で支えてもらったことに深く感謝したい」と語った。

後藤斎新知事は「横内知事の築いた基盤を引継ぎ、山梨在住者90万人をめざして産業、経済を元気にしたい。山梨県人会連合会におかれてはビジネス基盤強化のため、一層の力添えをお願いしたい」と抱負を述べた。

臼井成夫山梨県議会議長は、国内外多難な時代だが、硬直した制度を見直し、柔軟に対応することが何より大切と語った。出席した国会議員を代表して中島克仁衆議院議員、小野次郎参議院議員もそれぞれ挨拶した。

出席の12市長が紹介され、代表して江口英雄上野原市長が「地方創生実現のためには人口減少に歯止めをかけ、町、人、

仕事を総合戦力として活性化させたい」等と語った。

今期勇退の宮島雅展甲府市長と樋口雄一新甲府市長もひと言ずつスピーチした。

来賓紹介の後、中込勝子県人会連合会女性の会会長の乾杯の音頭で懇親会に移り、日本舞踊や笛吹もも香さんによる歌謡ショーを楽しんだ。

長田正県人会連合会副会長の閉会のことば、有野征雄県人会連合会副会長の万歳三唱により散会した。

就任あいさつ

このたび私は、多くの県民の皆様のご支持をいただき、第61代山梨県知事に就任いたしました。重責に身の引き締まる思いであり、ふるさと山梨のさらなる発展に向けて、全力投球して参る所存です。

山梨県人会連合会の会員の皆様には、日頃からふるさと納税へのご協力をはじめ、県政全般にわたり厚いご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

現在山梨は、人口減少社会という今まで我々が直面したことのない大きな変化に加え、生活や産業を支えるエネルギー資源の変化、県土の景観を形成する農業を取り巻く状況の変化、そして近い将来に発生が予測される大規模な災害などへの備えが求められるなど、大きな転機に直面しています。

このような問題は、時代の大きな流れ、潮流の中で捉えることが必要であり、私は、土地利用、産業構造、教育、医療、子育て等様々な項目で過去100年を振り返り、山梨の主要な課題を次の6つに整理しています。

1つ目は、本県の雇用と経済の多くを支えている基幹産業の発展です。

2つ目は、農林業、地場産業、観光など地域資源を生かして個性豊かな産業を生み出すことです。

3つ目は、少子化が進行する中、明日の山梨を担う人材を育成する教育体制、子育てを支援する体制を充実させるということです。

4つ目は、生涯にわたって心身とも健康に、生き生きと暮らすことができる地域にすることです。

5つ目は、自然災害の多発やインフラの老朽化、公共交通や商店街の衰退等が進行する中、地域の暮らしと企業活動をいかに守るかということです。

6つ目は、以上の課題を解決し、元気な山梨を創っていくため、地域づくりのイノベーションを起こすということです。

これら6つの課題はそれぞれ独立したものではなく、相互に関連し、大きなスパイラルを描いています。今、私たちが明るい未来を目指し、強い意志を持ってこれらの課題に対処しなければ、減少傾向に転じている定住人口とともに負のスパイラルに陥っていく可能性があります。それを回避し、将来の山梨を考える上で最も重要な課題である定住人口の減少を食い止め、増加へと反転させていかなくてはなりません。

私は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに、山梨が再生に向かうことができるか否かが本県にとってのデッドラインであり、それまでに数々の施策を実現していかなければならないと考えています。新しい課題、困難な課題が数多くありますが、今やらなくてはならない117の公約の実現に向けて、直ちに実行に着手して参ります。

過去100年を振り返ることにより見えてきた目指すべき未来は、数々のきらりと光る価値を世界に発信し、新たな日本のモデルとなる「100万人都市」山梨です。子どもたちや子育て世代、高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる、この目指すべき新たな地域社会を、山梨が持つ「エネルギー供給力」、「景観・農業力」、「安心・防災力」の3つの力を高めつつ、県民の皆様とともに創り上げていくという考えを、ダイナミックやまなし「プラチナ社会構想」と名付けました。山梨もプラチナと同様に、個性・特性を最大限に生かしながら、将来にわたって輝き続ける地域でありたいという意志をこの名前に込めています。

この「プラチナ社会構想」の実現に向け、皆様と一丸となって挑戦していく決意でありますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県人会連合会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げまして、就任の挨拶といたします。

山梨県知事　後藤斎

わがまちへようこそ
笛吹市

日本一桃源郷宣言のまち笛吹市

釈迦堂付近から桃

笛吹市は、量的にはもちろん美味しさも日本一を自負する桃生産のまちです。桃花爛漫の平成25年4月10日、日本一桃源郷を宣言し、4月10日を「笛吹市桃源郷の日」に定めました。ちなみに、4月10日は正月から数えて百日目でもあります（百は「もも」とも読む）。

昨年2月の雪害に際しては、県人会の皆さまには大変ご心配をおかけしました。資材調達や作業員の手当てに難航しておりますが、国や県の支援を得て、復旧に向けて着々と歩を進めております。お陰様で、例年どおり2月14日には、日本一早いハウス桃園をオープンできました。この号が皆さまに届く頃には、ハウス桃の出荷が始まっていることでしょう。今年も日本一桃源郷の桃をご堪能下さい。

なお、4月に、全国の桃産地に呼びかけて、「全国桃サミット」を開催することとしております。日本の桃が世界市場に向けて飛躍するよう、全国の産地の先頭に立って打って出ます。

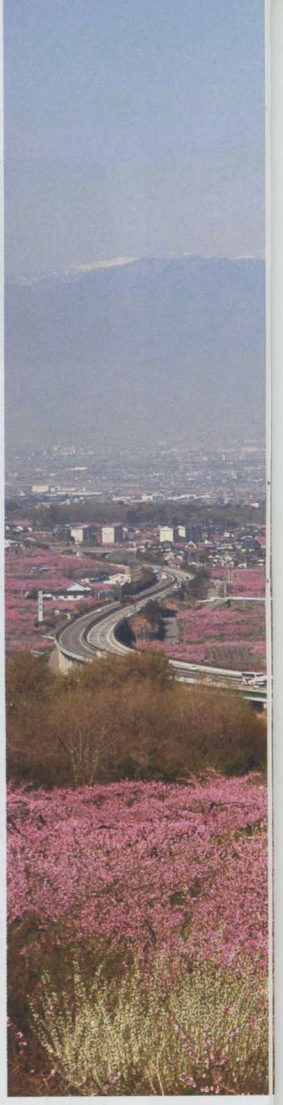
■ぶどうもワインも

ぶどう生産も日本一を自負しています。様々な新品種が出回っておりますが、甘みと食べやすさではやはりシャインマスカットがお薦めです。ぶどうも、台湾にトップセールスを行うなど、海外市場に積極的に進出することとしております。

ぶどうといえばワイン。愛好家にとっては、今から新酒の出荷が待たれます。「山梨ヌーボー」の解禁日

笛吹市長　倉嶋 清次

果実と温泉のまち笛吹市は、歴史と文化財に彩られたまちでもあります。今回はあまり知られていないところも掲載しました。まだまだ紹介したい場所はたくさんありますので、次の機会をお楽しみに。



ヌーボー祭り乾杯

は11月3日（祝）。毎年石和温泉には、一刻も早くヌーボーを飲みたい愛好家が大勢押しかけます。午前0時を期して、いっせいに「ヌーボーde乾杯」をします。

県人会の皆さま、お誘い合わせて、今年は石和温泉にお泊まりください。足湯ひろば特設会場でヌーボーで乾杯しましょう。

■歴史のロマンに思いを馳せて

笛吹市は、万年の歴史が積み重ねられた地で、多くの文化財に接することができます。縄文時代を代表する釈迦堂遺跡。2月20日に県内外の研究者が集い、出土品の世界的価値が再確認されました。釈迦堂遺跡博物館はもっと多くの皆さんに訪れて頂きたい場所です。時代は下って、白鳳期の寺本廃寺跡や奈良期の国分寺・国分尼寺跡に佇んで、往時を偲んでみませんか。ともに国指定重要文化財の室町期の山宮神社と江戸期の慈眼寺はそれぞれ改修を終えたばかり。ぜひ足を運んでみてください。もうひとつ、とっておきの場所をご紹介しましょう。行基の創建と伝えられ笈形焼の起源に関わる菩提山長谷寺では、「私たちと一緒に、寺を護り、創っていきませんか」と呼びかけ市民参加のお寺づくりを進めています。由緒ある山寺を広大な寺域とともに併せ創造する壮大な活動に参加しませんか。

釈迦堂遺跡博物館

釈迦堂遺跡館内収蔵品

慈眼寺本堂

長谷寺

■桃源郷のさらなる輝きをめざして

笛吹市といえば温泉。外国人の方の姿を多く見かけ、賑わいをみせていますが、笛吹市の経済活動を活性化させるためには、観光産業の中心地、石和・春日居温泉郷に活気を取り戻すことが不可欠です。このため、市名の由来となっている笛吹川の水辺空間を活かしたまちづくりに取り組み始めたところです。「ミズベリング構想」とそれに基づくまちづくりです。「川中島合戦戦国絵巻」に連動した集客能力の高い施設の整備、伝統の徒歩鵜の積極的活用、「石和温泉花火大会」のグレードアップ等に向けて具体化を図ることとしております。

夢の超特急リニアを間近でご覧頂くため、御坂町と八代町の二ヶ所に「リニアの見える丘」展望台を設置しました。山梨観光の際に周遊コースに加えてもらえるよう、更に整備を進めてまいります。

リニアの見える丘

■最後にお願い・・・

県人会をはじめとする多くの皆さまのご理解を得て、26年度のふるさと納税は2月現在、前年度比30倍増の3600万円のご寄付を頂きました。26年度は、リニューアルが8月と出遅れたため、お礼の品としては、桃が間に合いませんでしたが、ぶどう（シャインマスカット）・ワインが大人気でした。27年度は、日本一の桃が満を持しておりますので、引き続きのご理解・ご協力をお願いします。

日本一桃源郷が、春だけではなく、四季を通じて彩を楽しめるまち、やすらぎと笑顔溢れるまちをめざし、まちづくりを進めます。

故郷に流れる歴史の風　（笛吹市）

桃源郷が育んだ俳人、詩人、歌人の、ふるさとに波打つ言葉

夥しいトンネルを抜けて、勝沼ぶどう郷駅に着いた時、眼下にぱあっと甲府盆地のパノラマがひらける。故郷に戻ってきたのだ、ここにつつまれて生きてきたんだというしみじみとした感慨を、山梨県出身者なら、誰もが心のどこかで覚えるのではないだろうか。中央本線はここから甲府駅まで、なだらかな甲府盆地の裾野を走り続ける。春ともなると、その甲州盆地の水域（笛吹川）に沿って、桃の花がいっせいに咲き、この世ともあの世ともあらぬ桃源郷があらわれる。夢みることと生きることは同じなのだ、すなわちそれがふるさとである。この奇跡のような風土から幾多の俳人、歌人、詩人が生まれているので、その代表作を紹介する。トップバッターは山梨を代表する俳人、飯田蛇笏（1885～1962）旧境川村出身。

芋の露連山影を正しうす（1914年作）

眼の前の芋の葉に溜まる露、それが周囲ぐるりとめぐる甲斐国の連山の姿かたちを映し出しているようで、とてもみずみずしい。「芋の露」と「連山」の間に、甲府盆地が横たわっている。連山が、きりっと襟を正すかのように陰翳を深めている。高く連なる甲斐の山なみの豊かさを、じっくり味わいたい。続いて、蛇笏の息子である飯田龍太。（1920～2007）大庄屋であった飯田家の家督を継ぎ、また蛇笏の興した俳句結社「雲母」の主宰となった。

いきいきと三月生る雲の奥（1953年作）

父、蛇笏の端正にして陰翳深い甲斐の風景とは相違して、もの柔らかい眼差しが感じられる。雲の奥から三月が生まれるという若々しい生命の躍動。盆地というと少し息苦しい閉塞感もあるが、三月の空はとても自由で、そこから新たな生命感情が広がるのだ。

かたつむり甲斐も信濃も雨の中（1972年作）

梅雨時の雨に打たれてひたすらじっとしているかたつむり。その雨中が隣県、信濃まで広がっているのだ、・・・蛇笏が描いた連山の彼方を、さらに広がる世界として観照した龍太の、自在さ、豊かさを読みとりたい。続いて、境川村出身（1920～）の詩人堀内幸枝の詩『詩集のアルバム』より

葡萄の葉とうす紫の房が我が家の屋根にかかり　その影が縁側と土蔵の壁に落ちている
葡萄棚は、村の屋根から川原まで続いていて　どの棚の下にいても
一日中　村人たちの話し声がきこえてくる　隣のおばあさんの声と　母の声と（後略）

この詩を読むと、戦前、戦後を通じて変わらぬ、山梨桃源郷の村の風景が思い浮かぶ。葡萄棚の下で囁かれ、伝承されてゆく思いの豊かさだ。

歌人の大野とくよ（1924～）は旧一宮町で出生、父は村長だった。大野とくよは桃の歌人として知られ、笛吹市内にある金桜園、一宮浅間神社にそれぞれ歌碑が建てられている。

生きのびる心地に一つの桃を食むわがふるさとの愛はむに似て（金桜園の歌碑）

また**無心なる童女ひそかに息づくごと一顆の桃の山原明る**という代表歌もあり、故郷の山野一帯にたわわに実る桃の実を、無心な童女の心に重ねあわせている。作者は「桃は湧きあがる故郷への愛の象徴であり命の実感」と語っている。

最後に、この桃源郷の地に根付き、まさに故郷の母として短歌を書き続けてきた布施美智子さん（布施智樹県東京事務所長の母堂）の歌集『日だまり』から数首を引用する。**「二時半に我が田は翳り目に入るは山端の限る細長き空」「漫画読み一人で高く笑い居る子にまだまだ長き我等と思う」「甲州葡萄こぎても跡に何植えん我等限りの農に戸惑う」「死なないでと我が手をとりて眠る孫隣家の葬儀終わりたる夜」「沈む陽に南アルプス鮮やかなり飛行機雲も夕焼けの色」**

（文責・山下雅人）

意外に知らない

ふるさとの都市伝説 vol.6

シルクハットを倒さまにして、その帽子の底に、小さい小さい旗を立てた、それが甲府だと思えば、間違いない。きれいに文化の、しみとおっているまちである。（太宰治『新樹の言葉』より）

これほど美しく、また適切に甲府を形容している言葉もないだろう。

太宰治は昭和13年秋、井伏鱒二の紹介で、山梨の御坂峠の天下茶屋での暮らしを経て甲府に居を移し、翌年には甲府在の女性と、30歳で結婚した。小説『新樹の言葉』はその時期発表された。20代の太宰治は左翼運動の挫折、麻薬中毒と三度の自殺未遂・・精神病院に強制入院させられる等、「自らの主観的真実の道が、世間からは狂人の振舞いと見られていたことを知り、大きなショックを受けた」（奥野健男）とされる。だから太宰治にとって甲府での新生活は、健全な市民としての生活感覚を取り戻し、新たな文学的モチーフを求めようとする転換期だったのである。『新樹の言葉』の冒頭は「甲府は盆地である。四辺、皆、山である。（中略）大きい大きい沼を掻乾して、その沼の底に、畑を作り家を建てると盆地だ。（中略）沼の底、なぞというと、甲府もなんだか陰気なまちのように思われるだろうが、事実は派手に、小さく、活気のあるまちである。よく人は、甲府を擂鉢の底、と評しているが、当たっていない。甲府は、もっとハイカラである」と記されている。

甲府はハイカラ・・・きれいに文化の、しみとおっているまち・・・という太宰治の直感は、その通りだと思うほかない。

甲府は甲斐の府中、すなわち甲斐国の文化、経済の中心の場として名付けられた城下町として発展してきたことは確かだが、その経緯は単純ではない。武田信玄は躑躅ヶ崎館（現、武田神社）を拠点としたが壮麗な城を築くことはなかった。この事から敵の攻撃を欺くためにわざと大きな城を作らなかったという通説があるが、当時要塞として支城を各地に作るのは戦略上普通のことであった。武田家滅亡後豊臣秀吉により甲府城（舞鶴城）が築城され、江戸時代は幕府直轄となり甲府勤番が差配した。甲府藩とはいうものの領地を支配したのは幕府から送られてくるいわば「雇われ領主」である。また甲府勤番は「山流し」ともいわれ左遷に等しいものだった。この領主のモチベーションの低さは、皮肉にも農、商従事者の「締め付けの弱さ」に繋がり、城下町にもかかわらず、官の意向（幕藩体制）に捉われない商業中心の町の活気を生み出したようだ。水晶の産地、蚕による絹の生産・・・それを江戸に届けるという流通の開拓・・地場産業を江戸へと広げる商業中心地として甲府市街は活況を呈し、甲州商人の活躍する土台を築いたのだ。太宰治が甲府の町を「ハイカラ」と評したのも、山国の城下町にもかかわらず、官の力に頼らず、商業文化町として自立させようとした自由な空気（市民力）を、感じとったからだろう。さて甲府城はといえば、甲府勤番時代には「ご金蔵破り」やら「大火」があり城としての体裁を失くし、明治10年には廃城となった。以降、舞鶴城址公園として「城なき城址」として親しまれてきたわけだが、近年城門等が再築され、本城再建の動きもあるようだ。甲府駅北口、南口も再開発の途上にあって、甲府の景観は動こうとしている。しかしかつて甲府を活気付けて発展させた、官の意向に捉われない商人たちの独自のパワーを、街の在り方として生かすことは、忘れてならないことだろう。

（文責・山下雅人）

がんばれ！ヴァンフォーレ甲府！

広報・長田のヴァンフォーレ日記

2015シーズンも宜しくお願い致します！

皆様、ご無沙汰しておりました。
ヴァンフォーレ甲府　広報担当の長田圭介です。

今シーズンは、横浜ＦＭなどで監督を務めた樋口靖洋氏を監督に招聘、ヘッドコーチには川崎Ｆなどでコーチを務めた望月達也氏が就任いたしました。また、９名の選手が新たに加入し29名体制で臨んでいきます。

チームは1月19日～30日まで静岡県の清水で1次キャンプを実施し、フィジカルの強化やコミュニケーションの向上を図りました。またキャンプの最終日には、静岡産業大学とシーズン初の練習試合を行い、地元・山梨市出身の若杉選手、神奈川大卒のルーキー伊東選手、新加入ブラジル人ウイリアム選手のゴールで４－０で勝利しました。

樋口監督は今シーズンの戦い方について「甲府の持つ良さを継承していきたい。これを第一に考えています。一言で言えば『良い守備からの選択肢のある攻撃』、これを構築することが今シーズンの目的を達成するための最大のキーワードになると思います。甲府の持つ強固な守備を攻撃に繋げていく、その攻撃が単発に終わらず、組織的に厚い攻撃になる、これが得点力を上げることになり、失点の少なさを継承することになると強く思っています」と話し、まさに最終日の練習試合は、そのサッカーを体現した試合内容となりました。

その後、チームは２月９日～17日まで宮崎県の綾町で２次キャンプを実施、練習試合を中心にチーム戦術の浸透を図りました。勝敗だけを見ますと３勝１敗とある程度の成果を上げましたが、勝利したのは全て下のカテゴリーのチームのみ。唯一同じカテゴリーである横浜ＦＭとの試合は０－２で敗戦。内容的には守備面で多くの課題が見つかるものとなりました。

２次キャンプ終了後、同じＪ１クラブを相手に行った練習試合は清水に０－１で敗戦、開幕１週間前に行ったＦＣ東京には０－０の引き分けと徐々に守備面で改善が図られ、良い形で開幕戦を迎えられそうな状況に仕上がってきました。

最後に今シーズン７年連続で主将を務める山本英臣選手から皆様にメッセージがあります。「山梨県人会連合会の皆様、いつもご声援ありがとうございます。シーズン中、厳しいこともあると思いますが全員が同じ方向を向いて乗り越えられるように努力していきたいと思います。ヴァンフォーレ甲府に関わる全ての人が一体感を持って一緒に戦いましょう！宜しくお願い致します」

今年の山梨は男女のプロゴルフツアーで大盛り上がりとなること間違いなしだ。

5月からほぼ1か月おきに、男女のトッププロが県内4か所のゴルフ場で熱い戦いを繰り広げることがすでに決定している。

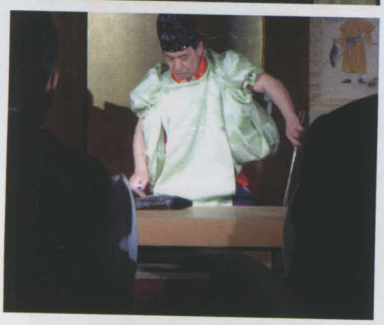
まず第1弾が5月29日開幕の女子ツアー・リゾートトラストレディス（賞金総額8000万円）。上野原町のメイプルポイントゴルフクラブで開催される。それから1ヶ月もたたない6月25日から、今度は男子のレギュラーツアーがやってくる。

ISPSハンダグローバルカップがヴィンテージゴルフクラブ（北杜市）で開催されるのだ。同コースで男子ツアーが行われるのは、1995年のダイワインターナショナルで森茂則が優勝を飾って以来、なんと20年ぶり。当時は冬の足音が近づく11月初旬の開催だっただけに、夏まっさかりの八ヶ岳南麓での開催は、またひと味違ったものとなるはず。さらに1ヶ月後の7月31日からは富士五湖エリアにゴルフファンの熱視線が集まる。鳴沢ゴルフ倶楽部（南都留郡鳴沢村）で「大東建託・いい部屋ネットレディス」が行われる。

5月下旬から続いた「サマー・トーナメント・ラッシュ」の掉尾を飾るのが、すでにおなじみとなっている富士桜カントリー倶楽部（同富士河口湖町）で開催のフジサンケイクラシック。9月3日から6日まで、富士のふもとで熱い戦いが展開される。県内外のゴルフファンにとっては、今から待ち遠しい「山梨の夏」となる。

平成26年度港区山梨県人会総会・懇親会

11月20日に八王子日本閣で食の祭典と共に盛大に開催された。



当日27名の来賓を含め、約150名を集めた盛大な会は、司会の向山一夫常任理事の開会の辞で始まった。先ず中村忠正会長が挨拶をされ「港区県人会は今回の総会で、26名の新会員を迎え、本日その内16名が出席している。当会もこれから新しい風を起こさねばならないと思っている。それこそが弦間会長が提唱されている『ふるさとリンケージ200』の実現を可能にするものだと考えている」と述べた。

続いて中村会長が議長に選出されて議事に入り、総て承認可決された。

続いて来賓挨拶となり、弦間明山梨県人会連合会会長が「港区県人会は会員相互がアイデンティティーを明確にされており、しっかりした目的を持っている。また社会貢献とフレンドシップを備え持ち、ソーシャルな存在である若い世代を受け入れており、それこそがこれからの組織や社会を造り上げるうえで大切な事であると思う」と述べた。続いて山梨県東京事務所の布施智樹所長が挨拶され、山梨県政も富士山の世界文化遺産登録後の観光客の増加やリニア中央新幹線工事の進捗を始めとする交通インフラの拡充・改善等、サービス向上に努めている等状況報告された。続いて波多野重雄元八王子市長が挨拶され「八王子は古く格式の高い歴史を持つ。由緒あるこの地に皆様をお迎えする事を大変誇りに思っている」と述べた。最後に内田孝会長代行の閉会の辞により、総会は滞り無く終了した。

間もなく《おいしい木曜日》と題した懇親会が開始された。先ず中村忠正会長が後述の「包丁式についての紹介と、同じく後程提供される日本料理とフランス料理のコラボレーションの晩餐についての説明をされた。続いて舞台上では、「四條流式包丁刀　東京一饌会（いっせんかい）」による古式包丁式が披露された。それは包丁と真魚箸（まなばし）のみで鯉を一切手を触れる事無く捌いて行く伝統の日本料理の源である荘厳な技術であり、各地の神事などで披露される。続いて井上幸彦元警視総監と田辺篤甲州市長による来賓の祝辞が有り、次に有野芳邦県人会連合会会長代行の乾杯の音頭で、会食が始まった。冒頭濱田貞夫日本閣総料理長と井上健司フランス料理長の挨拶があり、King&Kingの晩餐が始まった。その名は共に世界無形文化遺産に登録された和と仏の両料理から共にKingと称されるところに由来されている。

最後に中込勝子県人会連合会副会長の中締めの挨拶で、9時に閉会となった。

ほうとう会忘年会

山梨の次世代ネットワークが、確かな形で築かれつつある。

12月10日、千代田区内幸町の富国生命本社ビルの28階会議室で、山梨県人会連合会青年部主催の「ほうとう会　忘年会」が開催された。

若いビジネスパーソンにも気軽に参加できるよう、会費500円に設定されている「ほうとう会」は、同じ場所ですでに2度開催されている「やまなしワンハンドレッド倶楽部」に比べると非常にカジュア

ルな雰囲気。20～30代の若いビジネスパーソンなど88人が参加した。

小林央青年部長の司会により、弦間明県人会連合会会長の開会の挨拶。続いて小川朗ワンハンドレッド倶楽部代表世話人が、ほうとう会とも密接な関係にあるワンハンドレッド倶楽部の概要を説明。夏に予定されている第3回への参加を呼びかけた。

また女優の白須慶子さんや落語家の林家英平さんなど多彩な出席者から、日頃の活動や、今後の予定などが次々に発表された。

その後の懇親会では誰もが積極的に名刺交換。缶ビール片手にピザなどを頬張り、大いに盛り上がった。

三郷市・吉川市山梨県人会創立総会開催される

12月23日に三郷市文化会館に20名の三郷・吉川両市在住の山梨県人が集合した。

当会は三郷市在住の甲府工業高等学校東京同窓会常任幹事の河西能典氏が数年来持ち続けていた設立の構想に基づき、地元の広報紙に設立の旨掲載し、参加者を募集した。同時に河西氏の人縁に加え、三郷市在住の山梨県人会連合会常任理事の赤坂道子氏の人縁地縁活用等の全面協力を得て、昨年10月30日の県人会連合会組織委員会に於いて委員会が側面支援と協力をする旨の決定を経て、設立総会の日を迎えるに至った。当日は三郷・吉川両市の広報紙を見た7名を含め、20名が応募し参集した。先ず発起人代表として、河西能典氏が開会の挨拶として、当会創設の経緯を述べ「地元で共に暮らす山梨県人の親睦を深める事から同じ山梨ゆかりの人々の輪を拡げて行きたいので、当会への賛同と今後の協力をお願いしたい」と述べた。続いて中込勝子山梨県人会連合会組織委員長が、山梨県人会の組織と活動等の現状について、詳細に解説し、更に「山梨県人会連合会は発足後66年目を迎え、幹部の高齢化や休眠状態の地区会も有るのが現状だが、このように新しい会が生まれる事は、真に喜ばしい」と述べ、併せてリンケージ200等、山梨県人会の活動精神や、その意義について述べた。続いて県人会連合会組織委員を含め、参集者全員の自己紹介に移った。続いて議事に入った。①役員の選任・河西能典氏（甲府市住吉本町出身）が会長に立候補し、承認された。副会長には互選により、宇野幹二氏（同中道町出身）と相山良夫氏（同元紺屋町出身）の2名が、同じく事務局長に野呂瀬武人氏（南アルプス市若草町出身）が選任された。②会の運営上の基本事項や会費等について。③次回の会合の日時について等が協議された。その後懇親会が行われ、連合会の中込勝子組織委員長のハーモニカと赤坂道子常任理事のウクレレの伴奏で「ふるさと」を全員で合唱し、会は和やかな雰囲気の内に終了した。

平成26年度第3回常任理事・理事合同会議

12月16日午後1時30分～午後3時に上野精養軒にて47名の常任理事及び理事が集合した。

会は伊藤朝子常任理事の司会により、先ず長田正総務委員長の開会の辞により開始され、続いて布施智樹山梨県東京事務所長が「年末に当たり県人会連合会役員の皆さんに対し、日頃の懇談の機会毎に山梨県政についての示唆等の協力に対して御礼申し上げたい」と述べ、

また最近の山梨の社会経済状況や県政について報告された。

次に弦間会長が挨拶され、「先日副会長の深沢隆氏から『前回の当会議に初めて出席した際、議事の真剣な進行と、各役員の発表の仕方やその内容の素晴らしさに感動した。だからこそ山梨県人会が、全国の県人会の中で第3位の実績を挙げている事も良く理解できる』と言われた。それを聞き大変嬉しく思うと同時に責任を強く感じた。この事が県人会の会員に広く伝わり、県人会連合会の活動に関心を持って頂く事が大切であり、私もこの精神を忘れずに皆さんと一緒に活動をして行きたい」と述べた。

［議事］　各委員会委員長報告

（1）長田正総務委員長報告①第4回総務委員会で、平成27年新春賀詞交歓会の内容について決定した。また第66回総会の件について、式次第、懇親会、収支予算について第65回総会の資料を参考にし、次回の総務委員会にて検討する。また平成26年度第5回～第6回総務委員会を開催し、第66回総会・懇親会について協議する。②第1回予算委員会を平成27年4月7日に開催し、議題は第66回総会について協議する。③第1回常任理事・理事合同会議開催を、平成27年4月14日に開催する。議案は第66回定例総会議案についてとする。④第66回定例総会実行委員長については、富国生命保険相互会社会長の秋山智史様（平成19年5月副会長就任）に就任を依頼し、快諾を得た。

（2）中込勝子組織委員長報告

①第3回組織委員会に於いて、三郷市・吉川市山梨県人会を12月23日設立に向かって準備中であり、地元広報紙への広告掲載や、人縁地縁により会員候補者を募っていると報告された。②第4回組織委員会に於いて、保坂甲斐市長と甲斐市山梨県人会創立について協議した。設立総会は平成27年1月22日11時30分よりアルカディア市ヶ谷にて開催する。③第5回組織委員会（12月12日17時開催）に於いて、甲斐市県人会設立の世話人代表と事務局（甲斐市秘書政策課長等）により協議が行われ、甲斐市県人会の設立趣意書、予算、事業計画、式次第、時間配分、各担当者、懇親会内容等を決定した。

（3）事業委員会中岡啓子委員長報告

①やまなしカミングデー（10月23日～24日）について。主な目的とした県内首長訪問は、甲斐市に於いて保坂市長から、甲斐市の政策について講演を受け、南アルプス市では中込市長から、南アルプスのユネスコエコパーク登録について、富士川町では志村町長から、合併後の町政の近況について聞いた。また山梨の産業・文化・観光に触れる機会としては、都留市リニア見学センター、韮崎市民俗資料館、シャトレー・ベルフォーレワイナリー、道の駅富士川、市川三郷町の歌舞伎文化資料館、県立考古博物館等見学した。収支報告としては、ほぼ予算通り（参加人数42名）となった。②レモンパーティー（11月3日実施）については、男女19名ずつ38名の参加となり、成功裏に終了した。

（4）内田孝ふるさと納税推進委員長報告

①第4回ふるさと納税推進委員会につき、ふるさと納税推進状況について、申し出件数、金額について報告が有り、前年同期を大幅に上回っている旨、また活動状況としては、各委員が県人会や同窓会の関係者への呼びかけ、在京山梨政経懇話会会員に依頼文書送付及び知事とふるさとを語る会にて参加者に配布するとともに、呼びかけ用のブースを設置した（7名が納税）②知事政策局担当者との打ち合わせ・協議の機会を1月に持てるよう調整する③最新のふるさと納税推進状況・申し出状況（12月10日時点）として、件数　502件（前年同期142件）（内、県人会様式175件）金額16，167千円（前年同期9，262千円）（内、県人会様式8987千円）である。

（5）萩原能成広報委員長報告

①「富士の国」平成27年新春号について先ず、年賀名刺広告は、80件申込み（前回78件）を頂いたが、今後も100件を目標とす

る。②各会の会長や来賓の挨拶の主旨等を的確に紹介する等、内容の充実を図る。③富士の国の11月30日現在の収支状況は、予算通り進捗している。④平成27年の富士の国については、各地区会等個別県人会の会合や催し、連合会の各種活動、また同時に山梨県各市町村のイベント等を幅広く掲載し、県民と県人の一体感をより一層深めるためのツールとして役立てたい。各会の平成27年の活動内容等が決定され次第、広報委員会に情報を頂きたい（専用用紙有）

（6）坂井寛子芸能委員長報告

平成27年賀詞交歓会における芸能の出し物は、若柳流会主代表　若柳侑寿会主による新年祝いの日本舞踊「鶴亀」（5分間）・笛吹も香さんの歌謡曲5曲（15分間）とする。

司会の伊藤朝子氏が総ての議事が終了した旨述べ、午後三時に閉会した。

「女性の会」と合同の新春の集いを開催

世田谷区山梨県人会の新年会は、昨年の総会時、毎年1月15日・16日に行われる東京都及び世田谷区指定の無形文化財「ボロ市」を見学した後、新春の集いを行おうと「女性の会」の皆様と決めて、本年の1月15日に新春の集いを開催いたしました。

「ボロ市」は、1578年北条氏政の世田谷城下の楽市より始まり、今年で437回目が開催された伝統ある市です。世田谷代官屋敷を中心に当初は農耕具が中心の市でしたが近年は、700店近くの露天商が出店する市に発展して大変な盛況を博しています。

当日はあいにくの雨天でしたが、総勢20名（女性の会9名）の参加者があり、思い思いにボロ市の各お店を見て廻り、午後一時に三軒茶屋の「銀座アスター」に集合して合同の新春の集いを行いました。

ボロ市のお店のお話や購入した商品の話題で楽しい時間を過ごし、めったにお話が出来ない「女性の会」の皆様と親しく親睦が図れた事は、大変有意義な新春の集いとなりました。又、今回は、男女2名の新会員をお迎えして新たな年を祝えた事は、世田谷区県人会一同にとり大変な喜びとなりました。

（記・世田谷区山梨県人会副会長　粟沢隆盛）

十士会新年会開催される

1月21日アルカディア市ヶ谷に30名が集合した。

会は千須和理事の司会により、先ず甲府市の「とりもつ隊」代表の土橋克己氏の講演が有った。土橋氏は甲府市の職員仲間と、ドーナツ化して行く甲府の中心街に危機感を持ち、街興しについて市民活動として職員仲間と話し合い、模索を重ね、「とりもつ」をB-1グランプリでゴールドグランプリ獲得させるに至った。更に市役所職員10名で「甲府鳥もつ煮でみなさまの縁をとりもつ隊」の結成に繋がり、街興しの活動も本格化している。例えば甲府の路地横丁の掘り起し等、故郷愛と情熱溢れるものであった。会は懇親会に移り、先ず十士会の飯窪光隆会長が「十士会も若い集団なので、故郷の為に何か一つでもお役に立てる事が出来るような気持ちで活動をしたい」と挨拶した。次に来賓の挨拶に入り、山梨県東京事務所の布施智樹所長が「富士山の

甲斐市山梨県人会設立総会開催される

1月22日、アルカディア市ヶ谷に来賓8名を含む47名が参集した。

会は先ず①開会の挨拶で中込勝子県人会連合会組織委員長が発足までの経緯と、「この甲斐市山梨県人会を更に大きく育てる為、故郷への貢献等参加の意義を感じる会にしたい」と述べた。続いて②会の設立趣旨説明及び会則承認となり、甲斐市秘書政策課長の内藤博文氏が説明し承認された。続いて③役員選出が行われ、会長に込山進氏（山梨農林東京圏同窓会長）が承認され、副会長に飯窪光隆氏（山梨県人会十士会長）長谷部条氏（㈱）甲斐路苑代表取締役）中村己喜雄氏（甲斐市商工会長）の3名の外、各役員が選任された。続いて④会長挨拶で込山進氏が「甲斐市が現在山梨県下で第二位の人口を抱える市になっているのは大変感慨深いが、県人会組織については既に幾つも有る市町村県人会が有る中で、何れにも負けない活動を目指して行きたい」と述べた。⑤市長挨拶で保坂武市長は「予てから甲斐市も県人会を是非創らねばと考えていたが、4か月の準備期間を経て今日に漕ぎ着けた。県人会の中込組織委員長さん達からも激励を受け、地元の有力者の皆さんにも理解と助言も頂く事が出来たが、甲斐市の発展に繋がるより良いものに造り上げたい」と述べた。⑥その後議事に入り、平成26年度及び27年度事業計画・平成26年度及び27年度予算案の議案に付いてそれぞれ承認可決された。以上で設立総会が終了し、懇親会となった。長谷部条副会長の開会の言葉、込山進会長の挨拶、保坂武甲斐市長の挨拶の後、来賓の挨拶が弦間明山梨県人会連合会長より行われ「歴史の古い山梨県人会を活性化し、未来に繋げて行く上で新しい甲斐市山梨県人会の誕生と、この素晴らしい人々との出会いを喜びたい。また会の趣意書の内容も素晴らしく、それを実現するための戦略としても、甲斐の語源である、『交わり』即ち人と人との融合の中から新しい文化を生み出し、オンリーワンの県人会になって欲しい」と述べた。続いて山梨県東京事務所の布施智樹所長が「先ず、今正に地方創生が国全体の課題となっている時、首都圏と地方との交流という時流を得た事業である、甲斐市山梨県人会創設に携わった人々の熱い思いに敬意を表したい」と述べ、更に山梨県政の現状説明等行った。続いて来賓紹介の後、和やかな内にも賑やかな数々のアトラクションが出た後、最後に中村己喜雄副会長の閉会の挨拶で午後2時過ぎに会は盛会の内に終了した。

世界文化遺産登録等を始めとする県内産業の活性化策と、交通インフラの改善策を、近隣都県との連携策も取りつつ推進している」等現状について述べた。続いて山梨中央銀行東京支店の荻原政行支店長が挨拶に立ち「地方銀行協会の最重要課題として、地方再生の総合戦略作りが行われている。金融機関も行政と共に知恵と実行力を発揮しなければならないが、皆さんのお力添えをお願いしたい」と述べた。最後に山梨県人会連合会の長沼真事務局長が「県人会活動により会員相互の繋がりを深めて頂きたいが、それに加えてその繋がりをいかに生かすか考えて、アクションを起こしてこそ、実が結ばれる」と述べた。続いて森本武典副会長の乾杯の音頭で、和やかな歓談が新会員の参加も得て賑やかに進められ、9時前に田辺敏晃副会長の中締めの挨拶により、盛会の内に会は終了した。

小金井市山梨県人会26年度総会・新年会（新春の集い）開催

アットホームな温かさを繋げる会に

アットホームな温かさを繋げる会に

山梨に所縁の深い中央線沿いには、「国分寺市」「武蔵野市」「小金井市」等と、県人会が早くから作られていた。その要というべき小金井市県人会（武井正明会長）の総会・新年会（新春の集い）が、1月24日（土）武蔵小金井駅北口前、「レストラン葦」で開催され30名が参加した。「山梨県も県人会組織も活性化してきている。リニア中央新幹線開通の見通しもたち、新しい時代の幕開けとなる山梨の活動を、小金井市県人会としても生かしたい」と語り、小金井市の懸案だったゴミ処理場施設が4市合同として日野市に出来ることや南口の再開発等、前進している市の状況を説明した。武井会長は都留市出身で、上京して日本電電公社（現NTT）に奉職、労組の支援を受けて30歳で小金井市会議員となり7期28年務めた。それだけに地元商工関係者との繋がりは強く、賛同する法人会員が多いのも会の特徴となっている。総会終了後、来賓として弦間明県人会連合会会長は「初めて参加させてもらったが、ユニークでアットホームな会の雰囲気に和み、武井会長の示した発展の意欲をこころ強く感じた。ふるさとを介した出会いが交流となり、やがて大きな絆へと広がることが大切だ」等と挨拶した。布施智樹県東京事務所長は、ふるさと納税が例年の3倍増に達していることや、人口減少の中でふるさと創生をどうするか等、知事交代という節目にある山梨の現況を語った。稲葉孝彦小金井市長（千葉県出身）や木村基成都議会議員（東京都出身）も挨拶した。なお当日は法人会員を代表して本間敏弘氏（北海道出身・本間不動産経営）が乾杯の音頭をとり、志村恒雄副会長（甲府市出身）が総会の進行や閉会の辞を述べた。

古里で役員会と新年会、親睦深める

桃源文化会館で「北岳絶唱」を愛唱歌に

南アルプス市山梨県人会

南アルプス市山梨県人会（有野征雄会長）は、役員会と新年会を、山梨・南アルプス市桃源文化会館で開き、役員50名中41名と招待者他と合わせて51名が参加した。

志村嘉雄副会長の司会で役員会は始まり中岡副会長の開会、中込市長の挨拶、ついで有野会長の挨拶はリニア中央新幹線の開業を引き合いに「国の地方創生に山梨も遅れを取らないように進める必要がある」と言ったものと、会長の愛読書から引用した、1％の力「生きるヒント」でした。

議事は第5回総会を5月30日（土）に山梨・南アルプス市桃源文化会館で開催する事や総会の概要、そして甲府市在住の作曲家・望月吾郎さんの作曲で、ユネスコエコパークに登録された南アルプス北岳を歌った「北岳絶唱」を同県人会の愛唱歌にする事などが承認された。

中込博文市長は6月にレストラン、直売エリアが開園予定の農林業の6次化産業化施設「南アルプス完熟農園」について触れ「東京圏と農村交流のモデルとなる町づくりを進めたい、多くの集客に向け支援を」と呼びかけた。

同農園は中部横断道南アルプスインターチェンジの近くに整備され、市が出資する「㈱南アルプスプロデュース」が運営する。役員会では同社の担当者が施設の概要を説明、第三者割当増資で財務基盤の強化を図るとして、出資を要請した。「南アルプス完熟農園」に関する質疑応答では参加者から熱のこもった質問や要望が出された。

矢崎副会長の閉会の辞で役員会は終了となる。

新年会では、猪又事務局長、櫻本事務局次長の司会で、厚芝副会長の開会挨拶、斉藤県議、西野市議（当会常任理事）の祝辞と進み有野顧問の音頭で乾杯。地元産食材による料理が運ばれる中、甲府市出身の演歌歌手・美南ひろこさんや望月吾郎さんの歌謡ショーもあり出席者は交流を深めた。

間もなく発表になる愛唱歌『北岳絶唱』（細川たかし歌唱）の披露に続いて明らかにされたのが、同曲を中込市長の歌唱で発売すると言う構想だ。中込市長による、北岳絶唱の歌唱も行われ。最後は内池市議（当会副会長）の音頭で万歳三唱、丸山副会長の閉会の挨拶で閉会した。

（記・南アルプス市山梨県人会事務局）

第93回 久那土郷友会開催される

朝夕に流れつきせぬ三沢の川辺・・廃校の決まった久那土小校歌を全員で歌う

旧久那土村（現身延町）出身者による久那土郷友会（今村友芳会長）が、1月25日（日）、新宿「地中海クルーズ」で開催され15名が出席した。

深澤岩雄氏の司会により、先年亡くなった吉川忠雄元会長に全員で黙祷を捧げた。今村会長は「高齢化が進み70代以下の参加者が無いので、近親者にも声がけをしてほしい。母校の久那土小は昨年入学生が1人で、在校生は36名・中学は23名で、小、中学とも廃校が決まってしまったことは残念だ」と語り、内藤智雄副会長の乾杯の音頭で懇親会に移った。久那土という地名は現在では身延線「久那土駅」として残されているだけだが、同会の県人会としての歴史は古く、約半世紀前に発足している。地元の中・高校を卒業後、縁故を頼って上京、千代田区界隈の卸問屋や建材店に奉職する者が多かった。その久那土出身の集まりなので、愛郷心はひときわ強く、往時は90名近い参加者があり、年2回開催されていたという。浅草橋にあるハンドバックの国内トップメーカー「プリンセス」に50年在職したという深澤岩雄氏は「創業者が山梨県人なので社員は同郷者が多く、甲州弁が飛び交っていた」と語った。経営の実質的トップだった望月孝氏は俳人としても知られる文化人であり、「本物を知ることが大切」として音楽会や美術展に社員を引き連れて、情操の涵養に努めさせたということだ。だが昭和40年以降は大卒採用中心になったため社風が変わったとのことである。久那土小・中学校が廃校されることになっても、その記憶は失せることはない、それが古里というもの・・そこに会存続の意義があるようだ。カラオケや籤引きを楽しみ「朝夕に流れつきせぬ三沢の川辺、さながらに幾代つたえて、わが校舎は尊くたてり」と、久那土小校歌を全員で歌った。

平成26年度文部科学省 山梨県ゆかりの会開催

山梨ファイト！文化・教育活動に力を・・文科省官僚トップの集う県人関係者、60名の会

文部科学省・山梨県ゆかりの会（山中伸一会長・都留市出身、文部科学事務次官）が1

月27日（火）午後7時半より千代田区「全国町村会館」で開催され、60名が参加した。山中会長は「文科省としては地方創生が大きなテーマで、山梨が元気になったなといえる活動をしたい。地域医療の充実や各地域での景気の回復等、そこで働ける場がある山梨とするためには、山梨大学、また県の教育機関の活動がポイントになる。これからいよいよわれわれの時代になるので、山梨をより楽しく明るくするようにしたい」と抱負を語った。来賓として赤池誠章文部科学大臣政務官（甲府市出身）は「昨年秋に文科省政務官に拝命され出向いたところ山梨県出身者が多く、ふるさとに帰ってきたような温かい思いがした。山梨は教育人材輩出県として知られているので、教育再生の一番のポイントは山梨であるとして、その伝統を引き継ぎ、OBの方々も含めてスクラムを組んで前進したい」と語った。雨宮忠・文教協会会長（甲府市出身）が「コピッとしたい人もコピッとしたくない人も楽しく歓談しよう」とユーモアたっぷりに乾杯の音頭をとった。会半ば、今春で退任する前田秀一郎山梨大学学長が、新学部創設にあたっての文科省の支援に謝辞を述べ、4月から学長に就任する島田眞路山梨大学医学部付属病院長も挨拶した。阿部邦彦県教育長は「山梨を変える子どもたちを育成したい」と具体的な展望を語った。山梨大学、県教育委員会、県庁の各関係者も、それぞれ紹介された。

なお当日は鞠子雄志生涯学習政策局企画調整係長（旧甲西町出身）が司会進行を務め、内田弘保元文化庁長官（旧長坂町）が閉会の辞を述べた。

公益財団法人　山人会新年会開催

山梨を介した文化の継承を

公益財団法人「山人会」（志村司郎会長）の新年会が1月30日（金）千代田区プレスセンターで開かれ、25名が参集した。画家の織田泰児幹事、僧侶の見藤日勝幹事が司会進行した。志村会長は「山梨県の文化団体として公益財団法人に認定され、各位の協力のおかげで順調に運営が継続できている。当会のメインである山人会4賞は、山梨の芸術、文化を発展させる個人、団体の活動を顕彰、支援する場として、大きな意義がある。さらに山梨を介した文化活動の充実をめざそう」と挨拶した。来賓として布施智樹県東京事務所長が、後藤新知事の体制のもと、人口減少に歯止めをかけ、地方創生の展望をどう切り拓くべきかについて語った。乾杯の音頭をとった宮川一治理事長は「山人会は、大正の終わり頃、甲州という場で何か文化活動を発足させようじゃないかと文人、芸術家、ジャーナリスト等が集まって始まり、以来90年以上の歴史をもつ。この活動を未来に繋げよう」と語った。懇親会では各会員がひと言ずつスピーチして交流を深めた。

山梨農林東京圏同窓会新春賀詞交歓会および合同会議の開催

梨農林東京圏同窓会はさる1月31日ホテルグランドヒル市ヶ谷において新春賀詞交歓会および合同会議を開催しました。

会は11時から合同会議を開き、込山進会長の挨拶に続き議案審議が行われ、平成26年度会務報告・平成26年度収支中間報告・平成27年度事業計画（案）及び平成27年度収支予算（案）が可決されました。

関連して米寿を迎えた山中昭平、若尾秀幸両氏と平成26年の叙勲で瑞宝双光章を授与された堀内勲氏に記念品が送呈されました。

また平成27年度の予定行事として①東京圏同窓会総会（平成27年5月16日（土）開会）②第65回山梨県人会連合会総会（平成27年5月23日（土）開会）③山梨農林同窓会総会（平成27年11月15日（日）開会）が紹介されました。

つづいて新春賀詞交歓会が行われ山中昭平氏の年頭の祝辞、堀内　勲氏の乾杯に始まり各々の持ち歌の紹介などで楽しい時間を過ごし、最後に校歌を合唱しお開きになりました。

（記・込山進）

荒川山梨県人会総会開催

荒川山梨県人会の総会が2月7日（土）11時よりホテル・ラングウッド14階で行われた。

伊藤朝子婦人部長の司会で始まり。雨宮甚三郎副会長の開会の言葉。全員で「甲斐の炎」合唱。小松申治会長挨拶、山梨県東京事務所の石原洋人次長挨拶、宮下理事会計報告、監査報告を河西好文、事業報告を田辺理事が行った。宮下理事の閉会挨拶で第一部終わる。浅川喜文荒川区会議員の乾杯で懇親会もカラオケや福引きで楽しく語りあい、今泉理事の閉会の挨拶で終了した。

小松申治会長　挨拶

今日は甲州の行商人から身を起こし、日本を代表する実業家として、東京電力や鉄道事業に貢献した若尾逸平さんについてお話します。若尾さんは、南アルプス市の在家塚で生まれました。家の庭先で栽培した桃や葉タバコを持って行商に行きました。小銭が貯まると利益の多い、仲買人となって真綿や生糸を買い集め、江戸まで160キロの道のりを、重さ40キロ近い荷物を背負って笹子峠や小仏峠を這いのぼり、帰りは甲府で売れる商品を買ってトンボ帰りでひき返すという、身体一つの行商を続けました。横浜の港が開港して外国貿易が盛んになり生糸の貿易に目をつけて海外に売り込んだのが若尾さん達甲州商人でした。

若尾さんはイギリス商館の人と交渉に当たり、生糸の70パーセントを輸出しておりました。国内の8倍の高値で生糸を売り、大きな利益を得たのであります。当時ヨーロッパの女性たちはほとんど日本のシルクの靴下をはいていたそうです。この精神力こそ『甲州魂』ではないでしょうか。現実の生活は相変わらずきびしいですが、今こそ私達は健康に留意して、山梨ゆかりの誇りと自信を胸に各行事にも、活躍される事を祈念して新年の挨拶とさせて戴きます。

（記・今泉等）

山梨県人会連合会女性の会 平成27年度新年会開催

春の兆しあたたかな女性の会に45名が集う

2月7日（土）午後1時より八王子日本閣にて、山梨県人会連合会女性の会（中込勝子会長・増穂町出身）の総会・懇親会が45名の参加を得て開催された。野本荘子副会長（甲府市出身）が「こころをひとつにして山梨に出来る限りの貢献をしよう」と開会の言葉を述べた。中込会長は「どんな小さなことにも前向きにこころを尽くし、ふるさとから得た恩恵を返したい。早春の兆す今日、忙中閑ありと楽しんで下さい」と語った。来賓を代表して弦間明県人会連合会会長は「ローマは一

日にしてならず、という言葉があるが、ローマとはアモール（愛）であるところに深い意味がある。愛には、自己愛、家族愛、友人愛、さらに大きな社会愛に通ずるアガペーがある。この4つの愛を調和させるのが大切。この女性の会も、そういった愛を求めることが大きなトレンドとなっている」と語った。布施智樹県東京事務所長は、後藤斎新知事を迎える山梨の課題として、人口減にどう対処して活力を取り戻すのか、展望を語った。八王子日本閣のオーナーでもある中村忠正県人会連合会会長代行（旧勝沼町出身）が「女性の会は大きな愛が会場に満ちている。このような女性の力が発揮される県人会は、全国にも例がない。首都圏の山梨の県人会のなかでも一番大事なところを受けもつエンジンになっている」と述べて、乾杯の音頭をとった。間中寿美恵副会長の先導により、パドルジャークス体操（おしゃもじ形の健康器具を使った体操）を全員で行い、リラックスした楽しい会の演出となった。来賓出席者の各々がカラオケで得意曲を披露、女性の会会員とのデュエットもあり「早春賦」や「あざみの歌」等を全員で歌った。有野芳邦県人会連合会会長代行（旧白根町出身）の万歳三唱、赤坂道子女性の会事務局長（旧市川大門出身）の閉会の辞により、午後4時に散会した。

首都圏甲府会 総会・交流会開催

楽しく絆を深める会に 未来を担う若い世代も参加

首都圏甲府会（中村和男会長）の総会・交流会が2月14日（土）千代田区、アルカディア市ヶ谷で開催され、県内参加者も含めて230名が参集した。中村会長は「甲府出身者が一堂に会して楽しむ場を作ろうと、宮島前甲府市長の後押しもあって、6回目を迎えることが出来た。ふるさとを同じにする者同士、お互いに信頼しあってサポートする、その絆を次世代に繋げる活動の場としたい」と挨拶した。各議案承認後、花束を贈呈された宮島前市長は「甲府会には創立時から関わらせてもらっている。中村会長の行動力に期待したい」と謝辞を述べた。同会の名誉会長でもある樋口雄一甲府市長は「宮島市政をしっかり引き継ぐ」と挨拶した。来賓を代表して弦間明県人会連合会会長が「中村会長の、楽しく参加することで絆を強めるという姿勢に共鳴する。人生を左右するのは夢をもつことだ。真の成功とは何を達成するかではなく、どう生きるか、そのためには人と人との絆を大切にして夢をもつことが何より重要。甲府会をはじめとして多くの県人会は、絆の輪を広げて継続し、次世代へバトンタッチするよう活動していこう」等と語った。臼井成夫山梨県議会議長は山梨が暮らしやすさ日本一に選ばれたマスコミ報道等を例にして、横内知事の功績を踏まえて後藤新知事の下、山梨の新しい芽を育てたいと抱負を語った。首都圏甲府会会長賞の贈呈に移り、受賞者がひと言ずつ挨拶した。輿水順雄ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ社長は、マスコットのヴァン君とともに新ユニフォームを着て登場、「今期は堅守だけでなくわくわくする試合をお見せしたい」と抱負を語った。朝ドラ「花子とアン」で嘉納家の女中頭・山元タミ役を好演した女優の筒井真理子さんは「甲州弁なら得意なのに九州弁を使いこなすのに苦労した。憎まれ役だが多くの人の声援をいただいた」と語った。山梨県の高校生として初めて、

社会人レベルの技能検定2級を複数取得した一瀬勇人さん（甲府工業3年生）は、県内の企業に就職が内定したと報告「ものづくりが好きなので正確さとスピードをさらに身に着けたい」と語った。山梨では15歳という最年少で技能士建築大工3級に合格した齋藤真子さん（甲府工業1年）は「将来の夢は大工」と語った。他、代理出席となったが、中村梨乃さん（甲府工業3年）、甲府城西高校3年アーチェリー部も選ばれた。総会終了後、教養講座として荒牧大四郎歌舞伎座舞台社長の「甲州と歌舞伎のつながり」と題されたミニ講演会があり、中村勘三郎の役柄の経緯等、長年松竹で歌舞伎のプロデュースを担当してきた立場からの、興味深いエピソードが披露された。樋口雄一甲府市長は「甲府市のこれから」と題して甲府駅北口、南口の再開発に関わる展望を具体的に語った。懇親会では朱宮明美理事から、金精軒・首都圏甲府会コラボ企画の新規企画事業の発表として、「甲州金まんじゅう」の商品説明があり、金箔をまぶした試食品が全テーブルに配られた。小川朗事務局長からは、中村会長が館長を務める中村キース・ヘリング美術館のブースの紹介等があった。甲府出身のシンガーソングライターである伸太郎さんのミニライブも開かれ、作詞作曲した善誘館小学校校歌等が披露された。最後に「今日の日はさようなら」を全員で手を繋ぎ斉唱した。

なお当日は舞台俳優の石井ひとみさんが司会を務め、進藤中山梨中央銀行頭取が乾杯の音頭をとった。飯田冨美子会長代行が閉会のことばを述べた。

第25回大泉会総会・懇親会開催される 2月15日新宿ワシントンホテルに44名が参集した。

浅川英喜氏の司会で総会が始まり、細田加志美氏の開会の辞の後、石川東洋男会長が挨拶し「最近マスコミで山梨県が地方移住希望者数第一位となった旨報じられ喜ばしい。昨年は災害続きであり、今年も不穏な事件が続いているが、今日は旧交を温め合って楽しい一日を過ごして頂きたい」と述べた。引き続き会長からの来賓紹介の後、山梨県東京事務所の布施智樹所長が来賓の挨拶を行い、観光や交通インフラ政策の進捗に加えて、週刊誌等で、山梨県が「暮らし易い県」のナンバーワンに挙げられ、山梨発展の芽が育ちつつある事等語られた。続いて北杜市長代理として、浅川正人大泉支所長が、北杜市は昨年市政10周年を迎え、更なる発展を目指す中、人口がこの10年で1500人程減少しており、各種子育て支援策に取り組んでいる。大泉町は合併後10年で400人程人口が増加しているが、高齢化率は市の全体平均よりやや高い。若者のIターンやUターンに協力願いたいと述べた。続いて議事に入り、上程議案については総て承認可決された。引き続いて、大泉会会員の元アメリカ講談社副社長の浅川港氏が「アメリカの内側から見て来たもの」と題して講演を行った。数々の政界トップや世界の要人のインタビュー等のキャリアを経て、アメリカに赴任した。その時から「英語で本を作る以上は世界の人々が共通して注目する重大な出来事や人々を対象に仕事をする」という志を持ち、それを次々と実現させた浅川氏の見識と行動力が伝わって来る数々のエピソードが語られた。日本人は和食の文化や、災害時等でも秩序を保つという国民性、またアメリカやカナダ等と違って、民族として同じ所に留まりながら新しい物を生み出す力を持っている事等を、もっと世界に発信しても良いと述べた。その後、懇親会に移り、山梨県人会連合会の長沼真事務局長及び北杜市の斉藤功文市会議員が挨

挨拶し、浅川元治郎前会長の音頭による乾杯が行われ、懇親会が始まった。懇親会は懐メロおやじバンドの演奏やヴォーカルを楽しみながら和やかに進み、14時過ぎに浅川武彦氏の中締めの挨拶で、盛会の内に閉会となった。

品川区山梨県人会平成27年春の集い開催

会員を増やして、より楽しく交流できる会をめざそう

2月22日（日）午後12時より五反田ゆうぽうとにて、品川区山梨県人会（長田正会長）の春の集い（役員会）が、45名の参加を得て開催された。矢崎武夫副会長が「如月（きさらぎ）には、重ね着をする、あるいは若木が木の芽を出す、という意味があるそうです。新たな気持ちで集いましょう」と開会の言葉を述べた。長田正会長は「日頃の役員の方々のめでたくあたたかいお力添えに感謝します。さて少子高齢化が進み、どの県人会も直面していることですが、会員の減少で運営が厳しくなっています。そのため当会でも昨年8月に、趣旨に賛同いただければ、どなたでも参加出来る会にする、と会則を変更しました。会員を増やすことで、より楽しく交流できる会としていきましょう」と挨拶した。

来賓として石原宏高衆議院議員が「現在は国会対策副委員長として裏方の仕事をしています。国会内のささいな情報の収集が、大きな国政の変化に絡んできます。今後ともご支援をお願いします」と挨拶した。なお石原議員には昨年の当選祝いとして、品川県人会より花束が贈呈された。懇親会に移り、井上幸彦元警視総監が「羊年の年まわりは、計画的に秩序だてて物事に取り組むことが大切とされています。今日は東京マラソンが開催されていますが、テロ対策が重要になっています。地下鉄サリン事件から20年を経ましたが、2020年の東京オリンピックを見据えて、あの事件を風化させてはなりません」と、オウム真理教事件の陣頭指揮をとった経験を踏まえて、乾杯の音頭をとった。天法楽さんの軽妙なウクレレ漫才やビンゴゲーム、カラオケ等を楽しみ、5月10日に開催される総会での再会を期した。

在京山梨政経懇話会

京山梨政経懇話会（弦間明会長）は3月16日、東京都千代田区の日本プレスセンターで第169回例会を開いた。

俳優の矢崎滋氏が「ボクの役者人生」と題して講演した。

矢崎氏は、著名な言語学者だった父親とは違う道に進むため役者を志したことや、人気連続ドラマ「相棒」で共演した俳優の水谷豊さんとのエピソードをユーモアを交えながら語った。落語も口演し、会場を盛り上げた。

矢崎氏は現在、福島県に住んでいることを紹介。山梨など地方の現状について「僕の感覚では（経済政策は地方の）末端には届いていない」と指摘。両親が南アルプス市出身であることに触れながら、「父と母のふるさとであり、若者が戻ってくるようにしなければいけない」と強調した。その上で「『東京万歳』のドラマをたくさん作ってきた。だが、都市での生活に憧れて多くの人が上京することが、素敵に思えなくなっている。今の正直な気持ちだ」と語った。

昨年12月に放映された人気連続ドラマ「相棒」にゲスト出演したことにも触れ、「視聴者から『自分の演技が昭和のにおいがして良かった』『相棒の最初のシリーズに似ている』と言われ、うれしかった」と笑顔を見せた。

（記・堀田博之）

やまなし掲示板

今年も富士山保全に100万円を寄付　サンプランナー・相吉英彦社長

山梨県出身の篤志家として知られる、山梨県人会連合会副会長（須玉会会長）の相吉社長は1月8日に山梨県庁を訪れ100万円を寄付した。同募金には通算で5回目500万円の寄附金総額となった。

相吉社長は子供の頃から育ててくれた故郷への恩返しをしたいと、他に多額の赤い羽根共同募金、昨年の大雪被害への義捐金、更には毎年の「ふるさと納税」による山梨県及び北杜市に寄附を続けており、県人会連合会の誇りでもある。

今年も恒例の蘭展（東京ドーム）

向山蘭園（塩山市）は今年創業50年を迎え、和蘭の先駆者とも言われ国内有数の蘭園である。今年2月の「東京ドーム蘭展」にも出展し、1991年の第1回以来の連続で出展しているが、既に何回もトップ受賞をしている。創業時は未だ蘭が非常に貴重な存在で、一株枯らすとひと月の収入が吹き飛ぶ時代だったそうである。

向山蘭園　甲州市塩山熊野274　電話 0553-33-4118

みさか有機の郷づくり　地元の農家が集まってふるさと創生

山梨県人会連合会の菱山武雄御坂会副会長等が中心になって設立された「みさか有機農業の郷づくり協議会（岩内一郎代表）」は都市生活者の健康をテーマに都市と農村の交流と農産物の付加価値化等による故郷活性化を行政と一体化により目指しており、既に生産・販売体制を築いている。

「みさかのオーガニック野菜」お問い合わせ/注文　055-262-2101

連合会だより

第66回山梨県人会連合会総会・懇親会のご案内

日時：5月23日(土)11時　場所：新宿・京王プラザホテル コンコードボールルーム

■会　　費　10,000円（完全前売り制）

■お申込み　所属の各地区人会、郷友会、同窓会にお申込み下さい

なお「富士の国」購読会員の方は連合会事務局にFAXでお申込み下さい

山梨県人会連合会事務局:電話 (03) 3256-3093　FAX (03) 3256-3015

今後の山梨県人会連合会の主な行事	
4月　3日（金）	第25回女性の会総会・懇親会（アルカディア市ヶ谷）
4月14日（火）	常任理事・理事合同会議（上野精養軒）
4月18日（土）	第5回水源林植樹会
5月14日（木）	第3回十士会総会（アルカディア市ヶ谷）
5月23日（土）	山梨県人会連合会総会・懇親会［冒頭記載］
5月27日（水）	第25回青年部総会（富国生命本社28階）
5月30日（土）	第6回南アルプス市山梨県人会総会・懇親会
7月11日（土）	甲府中学・一高東京同窓会（ホテル・グランドパレス）
7月12日（日）	第35回首都圏増穂・鰍沢会総会・懇親会
9月26日（土）	日川中学・高校京浜支部総会（如水会館）

フコク生命は、「ハローキティ」とともに
夢と安心をあなたにお届けします!!

HelloKitty

©1976, 2015 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G553009

「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社　〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2　TEL：03-3508-1101（大代表）

登広 - 秘書 -1664（H27.2.19）

すてきな未来応援します

フコク生命

富士の国 2015 開花号 No.645
平成27年3月26日発行 年4回発行 発行人 弦間 明
発行 山梨県人会連合会 電話03-3256-3093 FAX03-3256-3015
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-6-10 山梨中央銀行東京支店内

八王子日本閣 Noce Ange

レストラン「フローラ」
tel. 042-676-4128
ランチメニューが1800円から。
ティータイムに利用できるし、デートにもおすすめ♪

◆営業時間 10:00～22:00
◆ランチコース 11:00～14:30
◆ディナーコース 17:00～22:00
◆単品メニュー 1,575円～、ケーキ525円～

毎週土・日 ブライダルフェア 開催中！

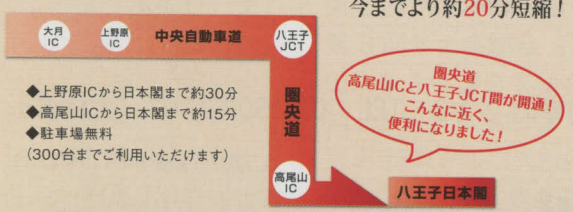
教会式、人前式、神前式、3つの挙式が叶う八王子日本閣では、
毎週土・日ブライダルフェアを行っています。
ご結婚を考えているカップルには、無料で試食も行っています。
予約がなくても、当日でもご用意可能！

ご宴会・会食

会社のパーティーやご家族のお祝いは美味しいお料理にお得なプランを！

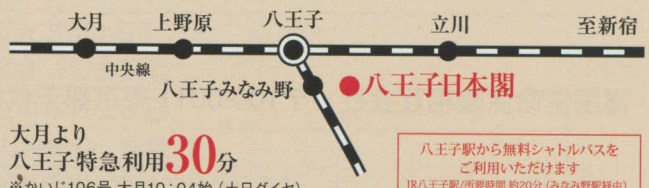
◆パーティープラン 7,000円～

お車でお越しの場合、大月ICから約45分！
今までより約20分短縮！



◆上野原ICから日本閣まで約30分
◆高尾山ICから日本閣まで約15分
◆駐車場無料
（300台までご利用いただけます）

電車でお越しの場合、大月より八王子特急利用で30分！



大月より
八王子特急利用30分
※かいじ106号 大月10：04始（土日ダイヤ）

八王子駅から無料シャトルバスを
ご利用いただけます
JR八王子駅/所要時間 約20分（みなみ野駅経由）

八王子日本閣 Noce Ange

東京都町田市相原町1008
http://www.noce-ange.com/

ご予約お問合せ 042-676-4122
予約受付時間09：00～21：00（火曜日定休）